

おわりに

この調査を始めてから36年経過し、その調査箇所は19,035件に達した。これらの調査結果を利用して崩土の運動機構、斜面崩壊の危険度判定、警戒避難体制の整備等の検討をしているが、がけ崩れの素因、誘因と崩壊機構との関係は複雑で崩壊のメカニズムを解明する段階には未だ至っていない。しかしながら、今回発行する「がけ崩れ災害の実態」は、崩壊の誘因毎（降雨・地震・融雪）に区別した解析データを新しく付け加えたことで、一歩踏み込んだ貴重な解析データになったものと思われる。

最後になりましたが、各箇所毎の災害実態調査では全国都道府県の担当の皆様の大なるご協力をいただきました。厚く感謝の意を表します。